

# マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部  
マリンレジャー安全推進室  
TEL 093-321-2931  
E-mail:kyuunan7-m9ev@kaiho.mlit.go.jp

第48号(平成21年7月)

## ミニボートの運行に注意

6月20日午前10時頃、A丸(ミニボート)は、2名が乗船し長崎県茂木港沖合で遊漁中、1名が急に立ち上がったため動揺し、バランスを取ろうともう1名も立ち上がったところ更に動揺が激しくなり、バランスを崩して転覆しました。

海上平穏で2名とも救命胴衣を着用していたため、10分後に付近で操業していた漁船に救助され、怪我もなくA丸は無事茂木港に入港しました。

ミニボートとは、次の3項目を全て満たす小型船で免許や船舶検査が不要

船の長さ:3m未満

「推進機関の出力:1.5kw(約2馬力)未満

プロペラ回転を必要時に直ちに停止可能な機構の装備

### ～事故からの教訓～

ミニボートは、風浪や他船の航走波の影響を受けやすく、また乗船者の大きな体重移動によりバランスを失いやすいことから、転覆して海上に投げ出される危険性が高いので、これらの危険性を十分理解したうえで運行しましょう。また、次のことを励行しましょう。

救命胴衣の常時着用

携帯電話(防水型又は防水バック)の携帯

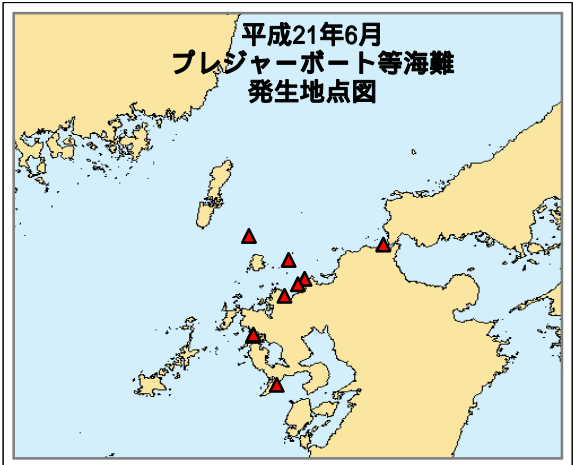
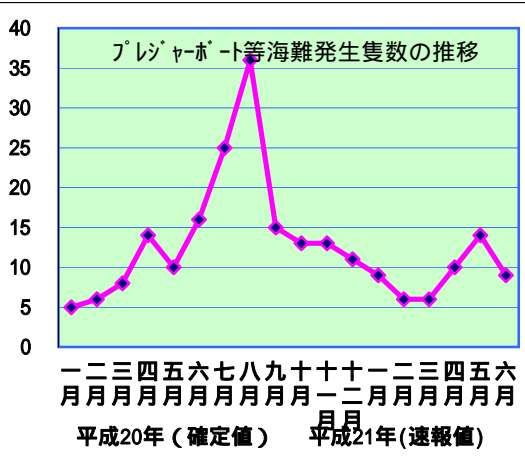
天気予報をチェックして、無理な運行計画は立てない、天気の変化したら早めに帰港

通航船の状況等周囲の見張りを怠らない

岸から遠くに離れない



平成21年6月 プレジャーボート等 海難発生隻数	
合計 9隻	
衝突	1
乗揚	1
転覆	1
浸水	0
推進器障害	2
舵障害	0
機関故障	2
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航障害	2
安全障害	0
その他	0



—しっかり見張って早めの回避、あなたの安全・家族の安心—

7月16日から31日まで  
**全国海難防止強調運動**  
が実施されます。



今年度の重点事項は  
・見張り不十分又は操船不適切による衝突海難の防止  
・ライフジャケット着用の推進等

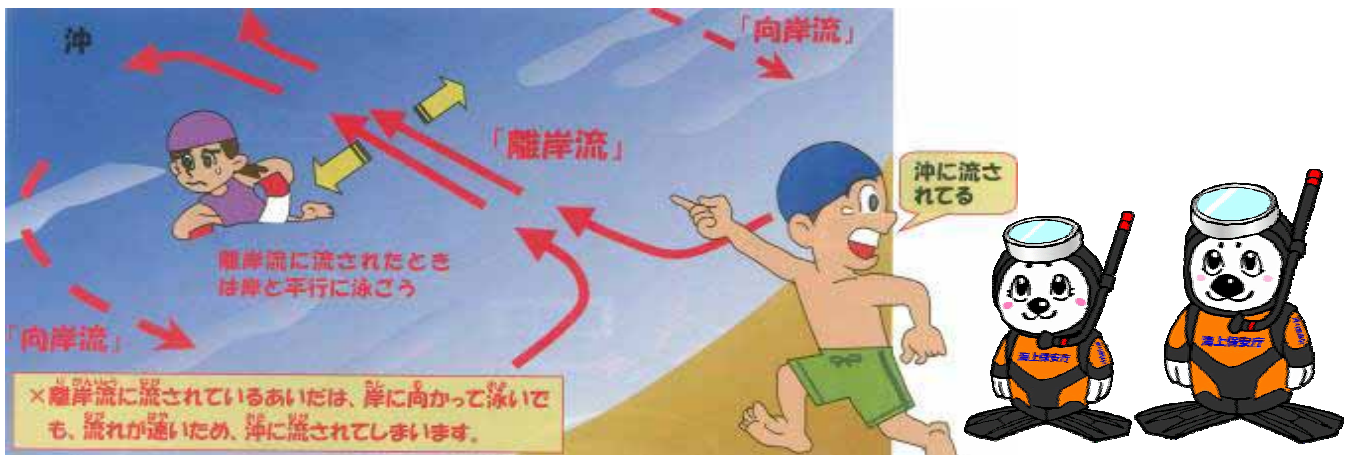
です。  
過去5年の衝突の原因は、**見張り不十分**と**操船不適切**がほとんどで、全体の**84%**を占めています。  
衝突海難を防止するために、**常時適切な見張りの徹底**  
**避航船は早めに相手にわかりやすい動作を、**  
**保持船も協力動作をとることの徹底**  
**汽笛信号等を活用した船舶間の**  
**コミュニケーションの促進**  
などに努めましょう



## 海の相談室だより (七管本部海洋情報部)

**離岸流ってなあに?** それは岸から沖に向かって離れる流れのことです。

海水浴場では、さまざまな水の流れがあります。なかでも、水難事故が多発する原因となっているのが「離岸流」です。離岸流は海水浴場の水際だけでなく、沖にある離岸堤のまわり、港にある防波堤、突堤など、「海岸の構造物」のまわりにも発生することが知られています。また、発生しやすい場所がありますが、どこでも発生する可能性があります。離岸流が発生している海岸では、泳いでいる人が沖に流されてしまうため、大変危険です。



### 海水浴を楽しむ方へ (離岸流などによる水難事故を防ぐため)

楽しい海水浴!! しかし、海水浴場はプールと違って、急に足がとどかなくなったり、波や流れに巻き込まれたりして、油断すると溺れるなどの事故につながります。

#### 海の恐さを知ろう

遊泳が許可されている海水浴場でも、離岸流が発生します。事前に、監視員などから情報を得ることで事故を回避できる可能性が高くなります。

#### 遊泳禁止場所では泳がない

遊泳禁止区域は、いざという時に助けてくれる監視員がいません。

#### 遊泳禁止発令時は泳がない

海水浴場では風や波が強い時は、危険なために遊泳禁止発令(赤旗)が出されます。

#### 無理をしない

泳力を過信せず、少しでも体調不良や危険を感じたら泳がないようにしましょう。

#### 海の情報交差点

(<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/top.htm>)  
では、**離岸流**についての**啓発ビデオ(動画)**  
などの情報を更新いたしました。

